記　者　発　表　資　料

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

SOTETSU
ときめきとやすらぎをつなぐ

令和６年３月２２日
横浜市道路局建設課
相模鉄道株式会社

鉄道高架化により様々な整備効果が確認できました

～相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業～

「相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業」（事業期間：平成 14 年度～令和３年度）では、相模鉄道本線の天王町駅から星川駅間において、鉄道を高架化することにより９箇所の踏切を除却しました。

このたび、鉄道の高架化による具体的な**整備効果をまとめたパンフレットを作成しました**のでお知らせします。ぜひご覧ください。

◆主な整備効果

開かずの踏切が解消！

渋滞がゼロになり、移動時間が**7.5 分から 3.4 分に短縮**しました。

踏切による地域分断が解消！

歩行者の交通量が高架化前に比べて**約２倍**になり、人の往来が増えました。

鉄道高架化がもたらす経済波及効果！

高架下空間の活用では**年間約 20 億円**の経済波及効果が期待されます。

パンフレット（A4）

その他の整備効果については、
横浜市ウェブサイトから！

お問合せ先		
横浜市道路局建設部建設課鉄道交差調整担当課長	土村　浩二	Tel 045-671-2757
相模鉄道株式会社施設部建設課長	鈴木　知徳	Tel 045-520-4331